

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 6月 26日

京都府知事 様



提出者

住 所 大阪府大阪市福島区福島6-20-12 abcdビル3階

氏 名 トヨタT&S建設株式会社 西日本支社支社長 田渕 博也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6458-0333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	トヨタT&S建設株式会社 西日本支社
事業場の所在地	大阪府大阪市福島区福島6-20-12 abcdビル3階
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

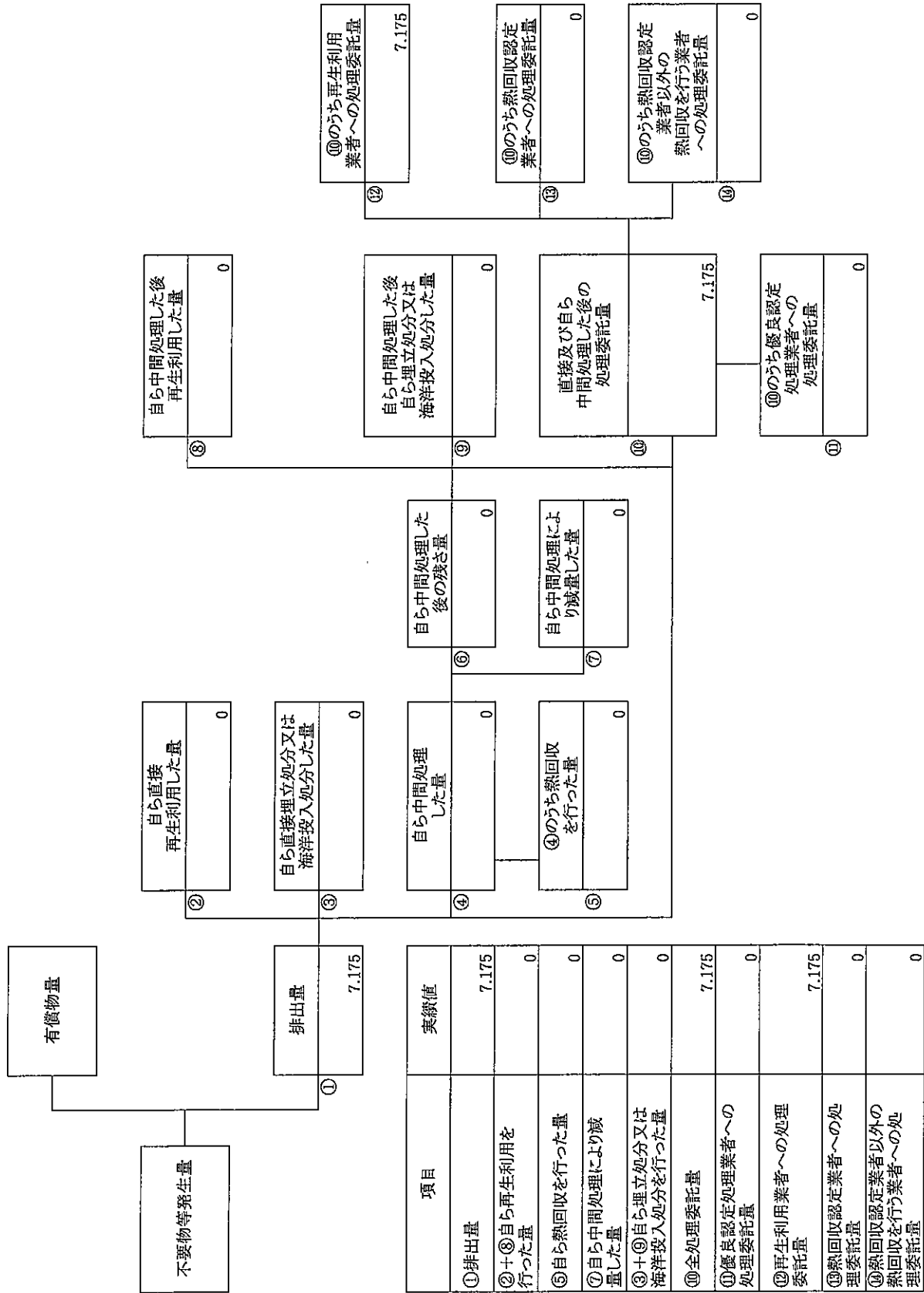
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,014.098t	全処理委託量	1,014.098t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,014.098t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

計画の実施状況



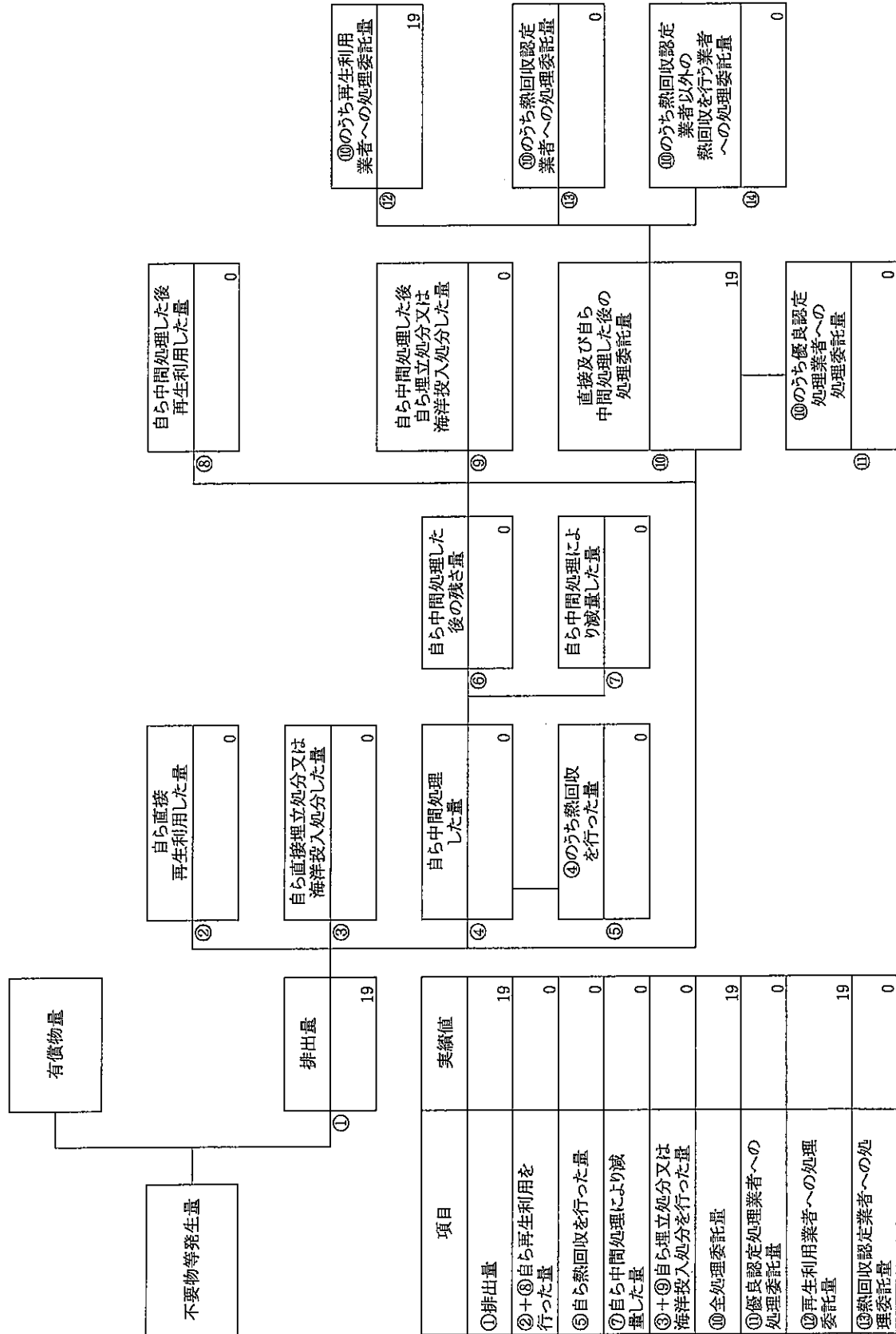
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

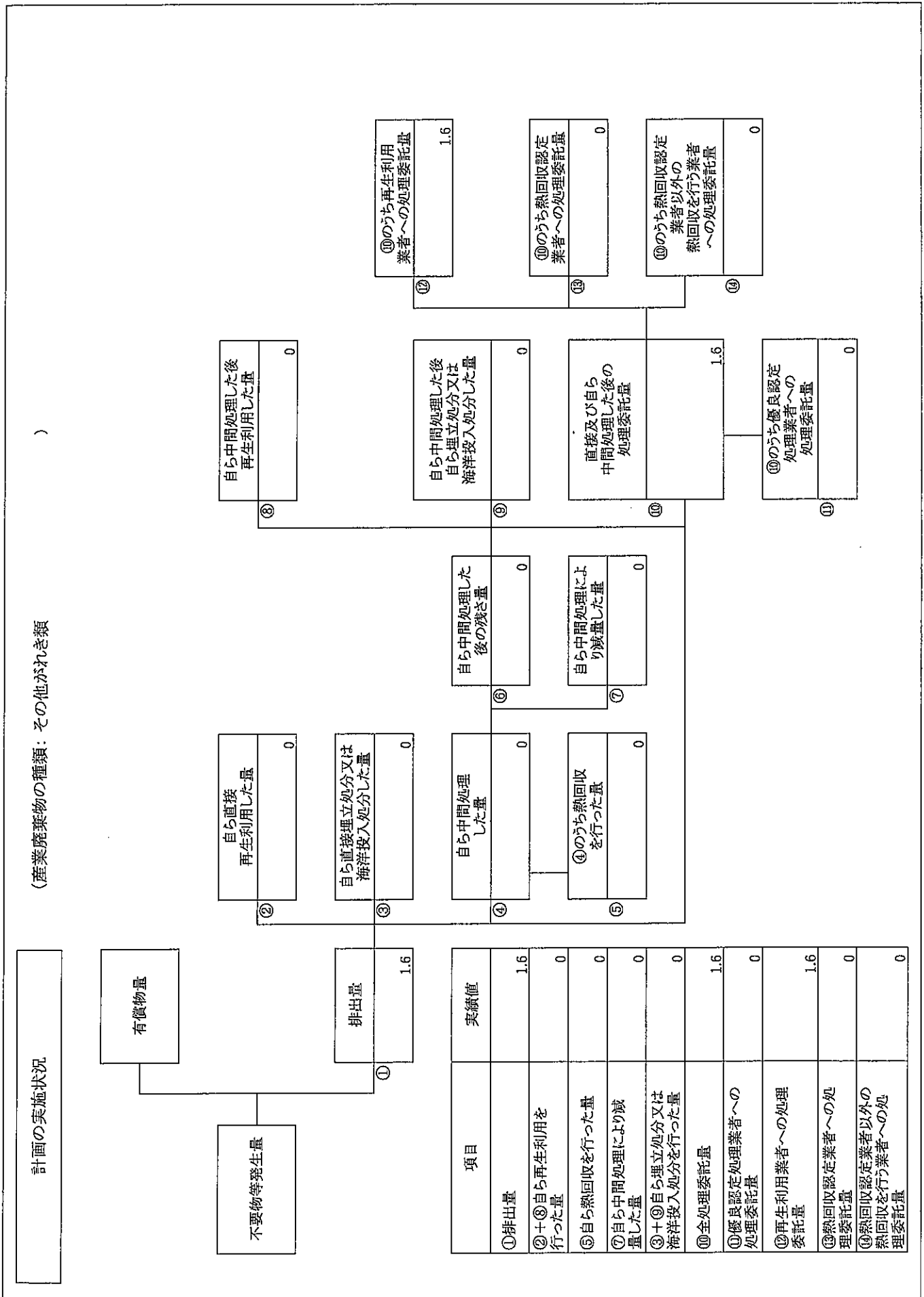
有償物量		不要物等発生量	
排出量		自ら中間処理した後の再生利用した量	
①	14.555	②	0
実績値		自ら中間処理した後の埋入処分した量	
①排出量	14.555	③	0
②+③自ら再生利用を行った量	0	自ら中間処理した後の残さ量	
⑤自ら熱回収を行った量	0	④	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	④のうち熱回収を行った量	
③+④自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0	⑤	0
⑩全処理委託量	14.555	⑥のうち再生利用業者への処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	⑥	0
⑫再生利用業者への処理委託量	14.555	⑦のうち中間処理により減量した量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	⑦	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
		⑩	0
		⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	
		⑪	0
		⑫のうち再生利用業者への処理委託量	
		⑫	14.555
		⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	
		⑬	0
		⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		⑭	0
		⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
		⑩	14.555
		⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	
		⑪	0
		⑫のうち再生利用業者への処理委託量	
		⑫	14.555
		⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	
		⑬	0
		⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		⑭	0

計画の実施状況

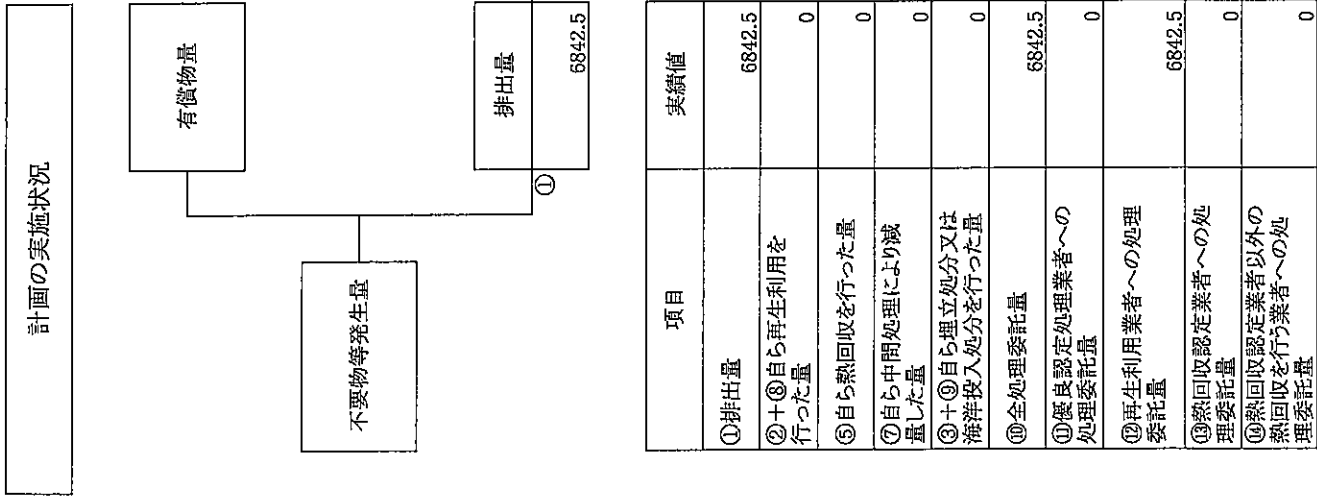
(産業廃棄物の種類：廃石膏ボード)



(産業廃棄物の種類：その他がれき類)



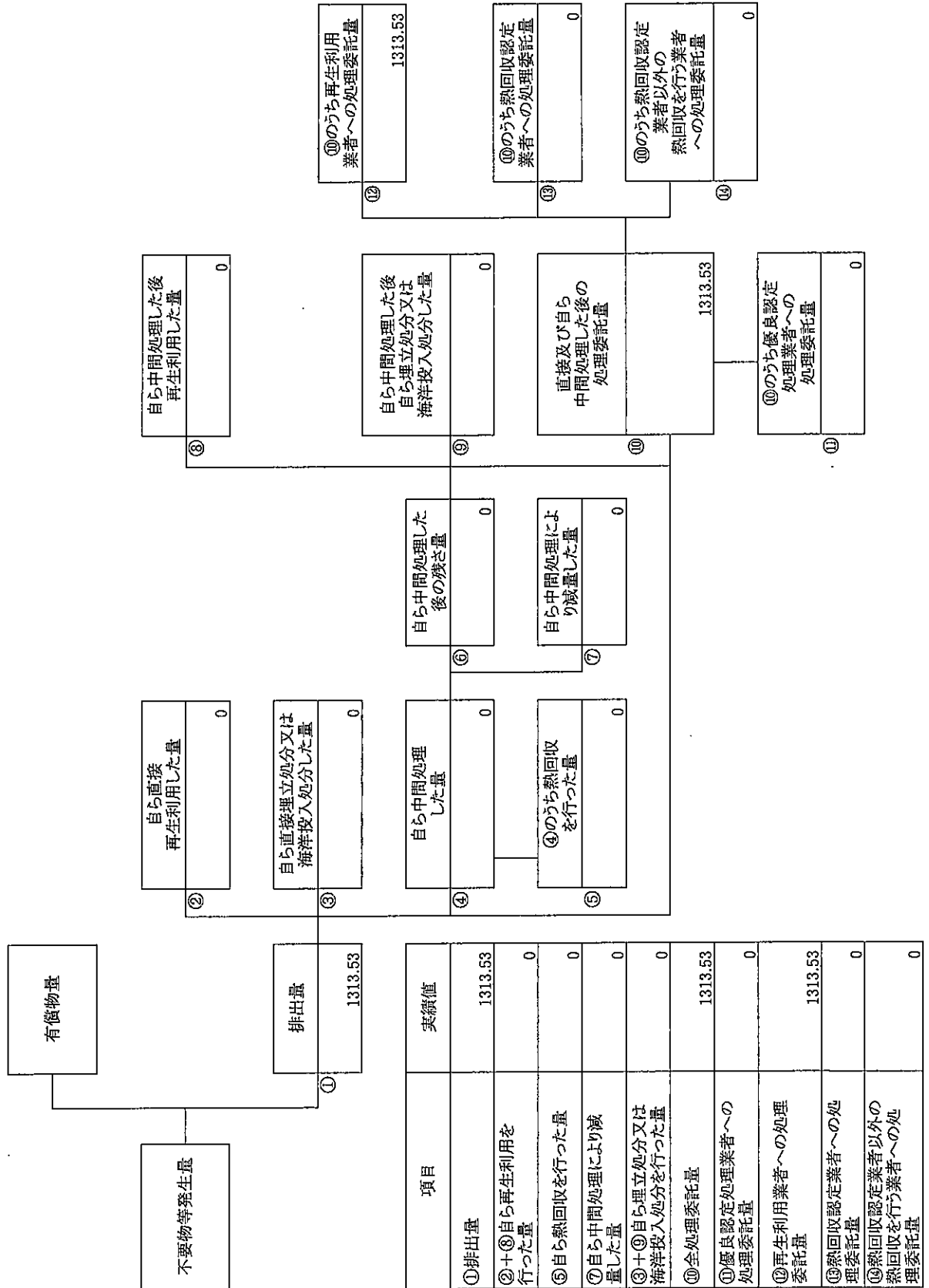
(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



項目	実績値
①排出量	6842.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6842.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	6842.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

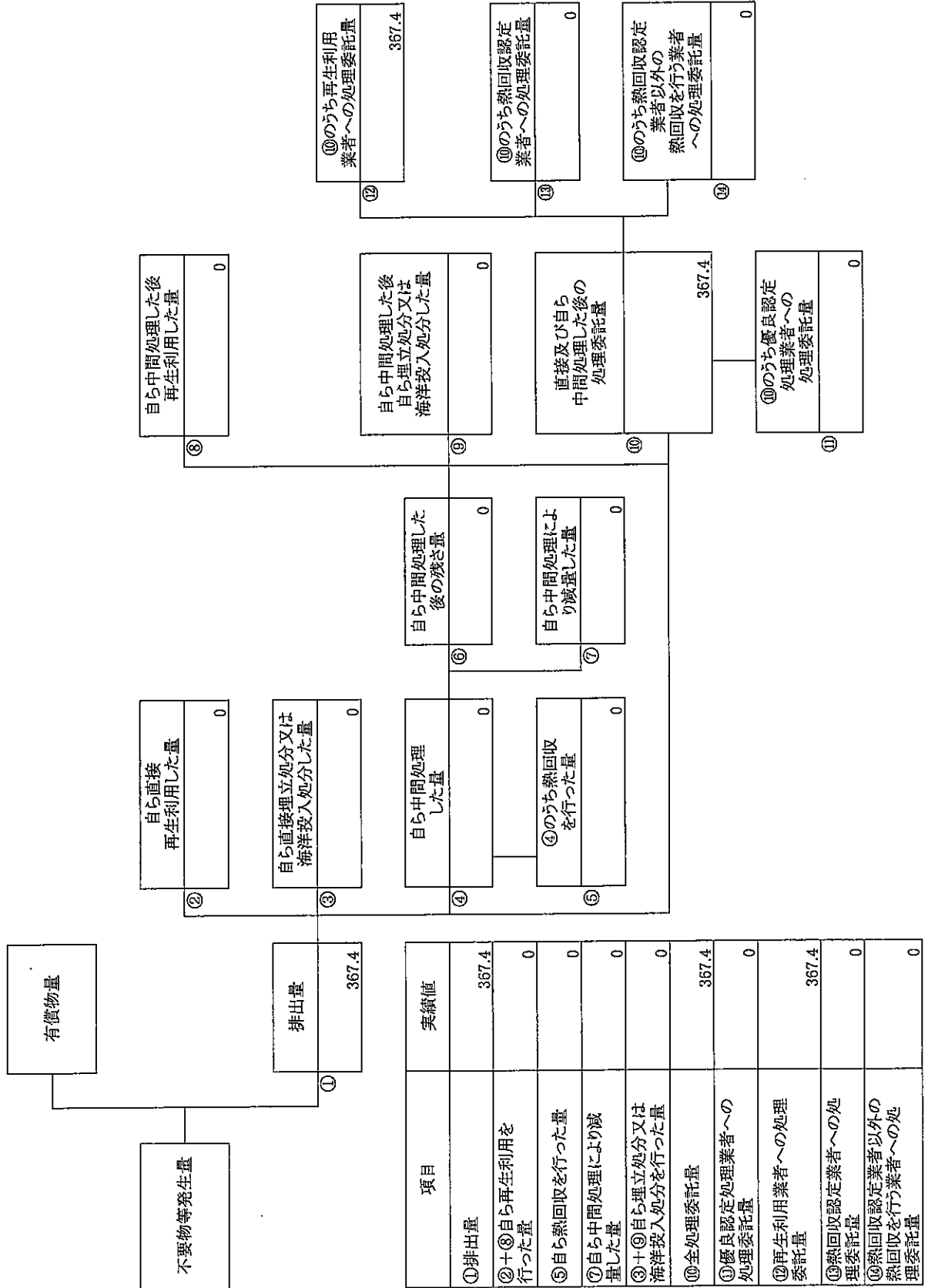
(産業廃棄物の種類：アスコンがら)

計画の実施状況



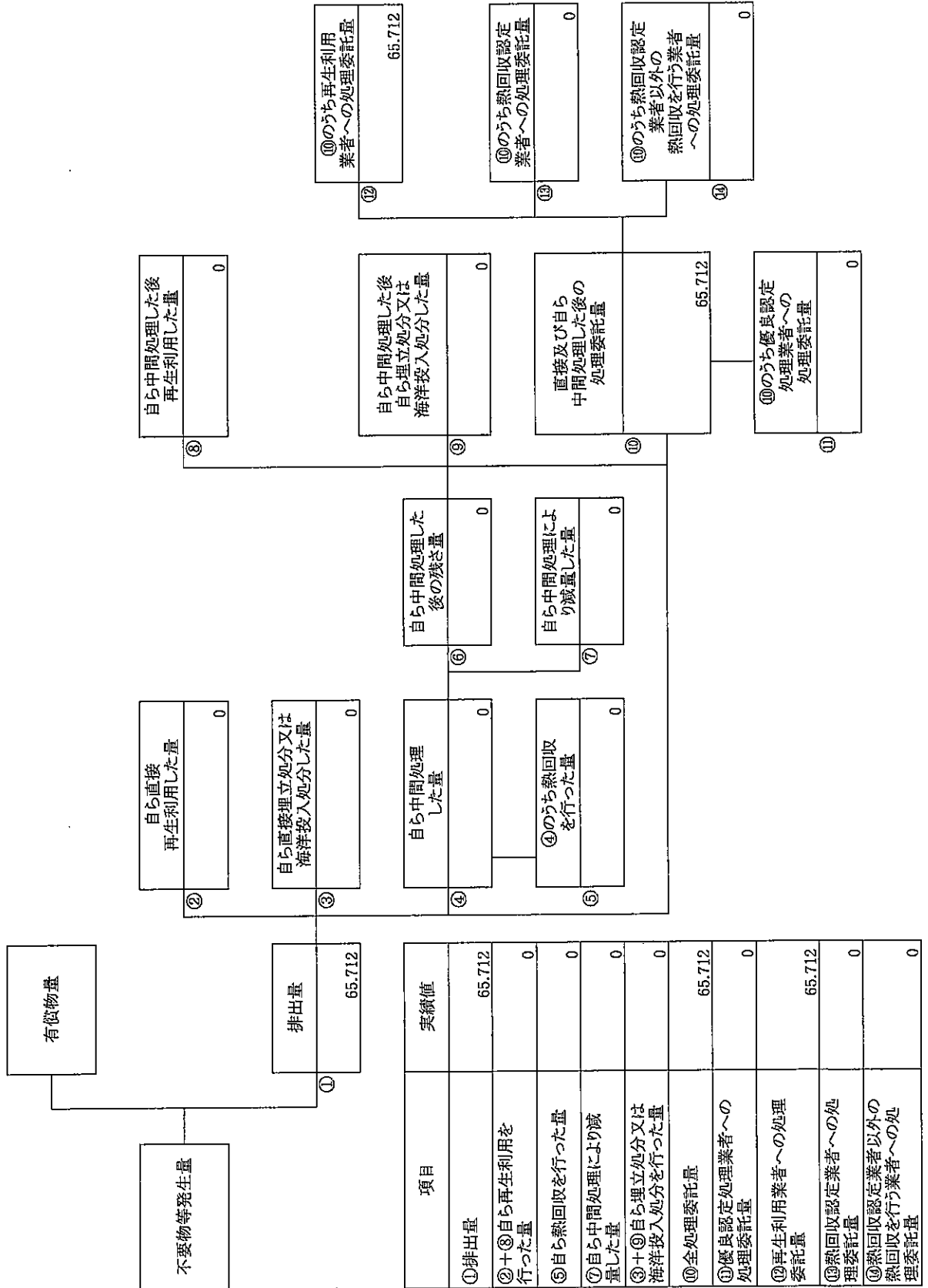
(産業廃棄物の種類：混合廃棄物(管理型))

計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類(石綿含有))



[illegible]

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: (特管) 廃石綿等)

有償物量		不要物等発生量		排出量		実績値	
② 自ら直接再生利用した量 0		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 0		① 0.3		① 排出量 0.3	
⑤ 自ら中間処理した後の残量 0		④ 自ら中間処理した量 0		⑥ 自ら中間処理した後の再生利用した量 0		② + ⑥ 自ら再生利用を行った量 0	
⑦ 自ら中間処理により減量した量 0		⑧ ④のうち熱回収を行った量 0		⑨ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 0.3		⑤ 自ら熱回収を行った量 0	
⑩ ⑦のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0		⑪ ⑧のうち優良認定処理業者への処理委託量 0		⑫ ⑨のうち再生利用業者への処理委託量 0		⑦ 自ら中間処理により減量した量 0	
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		⑭ ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量 0		⑮ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		③ + ⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0	
⑯ ⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		⑰ ⑭のうち優良認定処理業者への処理委託量 0		⑱ ⑮のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		⑩ 全処理委託量 0.3	
⑲ ⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		⑳ ⑰のうち優良認定処理業者への処理委託量 0		㉑ ⑱のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		① 優良認定処理業者への処理委託量 0	
㉒ ㉑のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		㉓ ㉒のうち優良認定処理業者への処理委託量 0		㉔ ㉓のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		② 再生利用業者への処理委託量 0.3	
㉕ ㉔のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		㉖ ㉕のうち優良認定処理業者への処理委託量 0		㉗ ㉖のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		③ 熱回収認定業者への処理委託量 0	
㉘ ㉗のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		㉙ ㉘のうち優良認定処理業者への処理委託量 0		㉚ ㉙のうち熱回収認定業者への処理委託量 0		④ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。